

SHIWA-NET しわネット

HTTP://WWW.TOWN.SHIWA.IWATE.JP/

平成 20 年 5 月 14 日発行
岩手県●紫波町〒028-3390
紫波町日詰字西裏 23-1
印刷・川嶋印刷株式会社

No. 743
2008

5



舞い散る花びらの下
舞い、歌い、笑う

特集 地域再発見シリーズ①
当事者主体による
精神保健福祉の地域連携
よりよい環境を子どもたちのために
目次は19ページです

今月の表紙 第37回 城山桜まつり

城山桜まつりは4月19日から5月6日までの18日間城山公園で開催されました。心配された鳥被害もなく4月20日に満開を迎え、27日のステージイベントでは、もち振る舞いに始まり、二日町鹿踊、三味線、フラメンコ、ボランティアガイドしゃ・ペーるの町案内、キッズダンス、カラオケ、踊り、STGMのライブが行われ、約2000人の来場者が楽しみました。



当事者主体による精神保健福祉の地域連携 寄り添い声かけあって、 支え合う心を大切に

地域
再発見
シリーズ①

知ろう・話そう・行動しよう 世代を越えて地域とともに

町は精神保健福祉において先進地として知られています。そこには早くから、心病む人たちが地域社会の中で自分らしく生きるとはどんなことを考え、精神障害者の支えとなり、当事者の立場に立って連携し活動に取り組んできた人たちの協働の歴史があります。

精神障害者に住みよいまちづくりをめざして

町は平成十五年に、循環・共生・参加まちづくり表彰（環境大臣賞）を受賞しています。「環境と福祉の町」として多くの注目を集めることとなりましたが、それは長年に渡る協働の歴史を支えた町民の荣誉として地域住民はじめさまざまな活動に携わった関係者の励みとなりました。

今回の特集では「環境と福祉の町」の福祉、とりわけ精神保健福祉活動に注目し、その活動の歩みを知ることから始め、住みよいまちづくりのこれから見つめることにします。

町では、精神障害者に住みよいまちづくりをめざし、約四十年前から保健所や精神保健福祉センターなどの連携が進められてきました。連携の背景には、保健師たちの地道な活動があったといわれています。

精神障害とは

そもそも精神障害とはどのような状態をいうのでしょうか。

精神障害とは、脳のはたらきがうまくいかないため精神病を発病し、自分自身への安全や他者への配慮はある程度できるものの、日常生活を維持しがたい状態をいいます。人生のどの時期でも、だれでもが発症する可能性のある精神病は、診断名として、統合失調症、うつ病、アルコール依存症、認知症など多くの種類があります。

複雑化する近代社会においては、心の健康を損なう人が増え続けます。診断名が複雑多様であるほどに、原因もまた複雑であるに違いありません。

すべての人が幸せであるよう 願いを込めて「紫幸会」誕生

昭和四十八年二月、精神障害者の家族交流を目的に家族会が誕生しました。紫波町に住んでいるすべての人が幸せであるように願いを込めて「紫幸会」と名付けられました。結成当時の会員数は六十人。家族会は、保健師と家族との厚い信頼関係によって誕生しています。保健師が気

軽に家庭に入る環境があり、保健師が家族会への参加を熱心呼びかけたのでした。「同じ悩みを持つ家族同士が気軽に集える場がほしい」という家族の要望に応えることとなりました。

現在「紫幸会」は、春と秋の「お楽しみ会」二カ月に一回の「おしゃべり会」を開いて、日ごろの悩みや相談などを話し合い、家族間の交流を深め制度や病気についての勉強会



さくら製作所では楽しく会話しながら作業が行われています

を開いています。

県内初の当事者会「さくら会」 そして「さくら製作所」開設へ

「紫幸会」は、当事者家族の交流の場として誕生しましたが、家族会に当事者本人を連れて来てもらいかと相談を受けるようになりました。そこで、お花見会に当事者の参加を呼びかけたところ多数の参加者を迎えることができました。以後、当事者同士の交流が生まれ、昭和五十三年、県内で初めて精神障害者当事者会「さくら会」が結成されました。

当事者同士の交流や家族の交流が深まるにつれて「当事者の働く場が



さくら会が実施した「スリム教室」

ほしい」との要望があがるようになりました。さくら会、紫幸会、保健師、役場が一体となって小規模作業所の設立に向けて準備活動が進められ、平成二年十一月、就労継続支援事業所「さくら製作所」が開設されました。当初保健センター二階に開設された「さくら製作所」は、現在の平沢字長尾沢地内に移転し、運営主体は家族会から町社会福祉協議会に移管されています。

広がるボランティアの輪 「ゆいっこの会」

精神障害者が自分らしく、あたりまえに生きていこうとするとき、多く



町が主催した「精神保健ボランティア養成講座」

の困難を知り、理解者となって寄り添う第三者の存在が欠かせません。

そんな存在として結成された精神保健福祉ボランティアグループに「ゆいっこの会」があります。平成十年に結成された「ゆいっこの会」では、よき隣人として、障害者に寄り添い、さまざまな形で支援活動を行っています。精神障害者と一緒に作業をしたり、心の問題に取り組んだり、地域社会の中で生活していくお手伝いをしています。

支え合う心を大切に

「さくら製作所」スタッフが、町役場ホールや街の駅なんバザ・ホールで食料品などの販売を始めています。また、四月から紫波中央駅北側待合室でコーヒーマービスも始めました。地域企業の理解を得て「さくら製作所」の作業は絶える事無く続いています。地域への感謝と交流の願いを込めて開かれる「ふれあいフェスタ」は、開催十一年目を迎えることができました。「ふれあいフェ

スタ」への参加者は年々増え続け、昨年は九百人を超える盛況となりました。

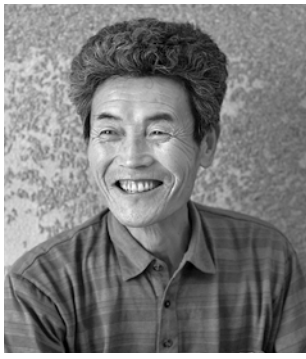
町の精神保健福祉活動は、新たな一歩を踏み出そうとしています。当事者が主役の福祉活動の継続と若い世代の参加が期待されています。そして誰もが、地域の課題を他人事としない、寄り添い声かけあって、支え合う心を大切にする地域社会の実現を願っていることを再確認したいと思います。



紫波中央駅北側待合室が憩いの場に
(さくら製作所スタッフによるコーヒーマービス)

Interview ● インタビュー

普通に世間話につきあってくれるだけでいいのです



「紫幸会」会長

阿部 弘さん

「紫幸会」には、家族だけでなく、「さくら製作所」の指導員や役場の人も参加しています。会員は設立当初からの参加者が多く、長くお互いを支え合ってきました。紫波町は、家族会への支援が早くから行われてきた地域です。県の連合会では、紫波の取組みの早さが地域の特長として知られています。紫波町に限って言えば、社会の偏見は薄れてきていると思います。地域社会の偏見が薄れてきた背景には、多くの協力者を得て、地域協働による組織的な取組を活発に行ってきたからこそ今があると思っています。

お互い集まって気軽に悩みを話し合おうと始まった家族会は、今なお毎年、春と秋のレクリエーションを欠かさず開いて交流を行っています。当事者の会である「さくら会」やボランティアグループ「ゆいっこの会」も一緒に参加してにぎやかです。二カ月に一回のおしゃべり会は、いつでも誰でも参加できる気さくな集まりです。ひとりで悩んでいないで、いつでも来てくださいと地域のみなさんに呼びかけています。

偏見を無くするために理解してくださいと言うことも、もちろん大切です。ですがまずは、気負わず普通に世間話につきあってくれるだけでいいのです。当事者も家族も、当事者が気を許す間柄になることを望んでいます。それが、良き理解者となる第一歩だと思います。

最後になりますが、社会復帰できる人を企業に雇っていただきたいとお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

元福祉課保健師
八重嶋幸子さん



町の保健師は障害者と健常者の区別なく住民の声を聞き、さまざまなニーズに対応していくのが役割と考え活動しています。町の精神保健福祉の活動は、先輩保健師が家庭訪問などを通して家族の相談を受けたことが始まりでした。相談する家族の中には、保健師に相談するまでに1年以上も悩んでいたというケースがありますし、当事者の中には、さくら会に興味はあるけれど、知らない人と話すのが不得手なので参加することをためらっていたという人もいます。

これまで多くの相談を受けて感じたことは、家族と当事者はそれぞれ違った立場にありますが、共に「普通の生活」を望んでいます。その普通の生活を送るための一歩として「紫幸会」「さくら会」に参加してみることをお勧めします。

「紫幸会」「さくら会」に参加してみませんか

おしゃべり会

◆日程 5月28日(水)、7月30日(水)
9月3日(水)、11月26日(水)
1月28日(水)、3月25日(水)

◆時間 午前9時30分～11時30分

◆会場 さくら製作所

紫幸会会員が集まり、互いの悩みや苦しみを共有する機会です。会員以外の人でもざくばらんに話せる場です。まずは、遊びに来てみてください!

「さくら会」副会長
羽生次雄さん



紫幸会の活動の中から生まれた「さくら会」ですが、最近では当初の参加者は少なく世代交代が進んでいます。若い人も入って仲よくやっています。近年は、お互いが心配りをするようになって、雰囲気は良くなっていると感じています。当事者自身にも自立したいという意欲があるからだろうと思います。当事者同士でボウリング大会やカラオケ大会をすることで交流は盛んに行われていますが、今後は、一泊研修などを取り入れた交流会を開くことを考えています。

「さくら製作所」が現在の場所に移ってからは、周囲の環境も良く、解放感があって、自由な活動ができるようになったなあと感じます。気安く通える雰囲気があって、行きやすくなったと思います。

私は、当事者を含めて家族が大切にしなければならない心構えがあるように思います。それは、当事者本人が望むことを家族が認めなければならないということ。そして、当事者自身は、楽しみを持つことが大切です。小さな楽しみでいいのです。そして、家族は、大らかな気持ちで当事者を理解することが大事だと思うのです。長い気持ちで当事者につきあってください。

おおらかな気持ちで当事者を理解することが大事です



問合せ

就労継続支援事業所「さくら製作所」

〒028-3308 平沢字長尾沢5-3 ☎672-5038 FAX 676-0138

✉ sakuraseisakujyo@carrot.ocn.ne.jp

*作業日:月～金曜日、午前9時～午後3時(土・日・祝日は休み)

*「さくら製作所」では、随時通所希望者・ご家族のご相談に応じています。
お気軽にお問い合わせください。

きれいな水を返したい

よりよい環境を 子どもたちのために

浄化：皆さんはこの言葉から何を連想するでしょう。「汚れを除いてきれいにする
こと」あるいは「汚れたものをきれいにすること」。精神の浄化、環境の浄化、浄化
という言葉には問題を解決できる大きな力があるように感じられませんか。自然環境
の浄化。町では、下水道施設によって水を浄化していますが、快適な生活を送るため
だけでなく、自然環境を守るという大きな目標があります。「百年後の子どもたちに
豊かな自然環境を残したい」このことに反対する人は、誰もいないことでしょうか。そ
れならば、そのために何をすべきなのか。今一度、考えてみませんか。

町に公共下水道が誕生したのは昭和六十一年の
こと、県内三番目の単独事業としてスタートしま
した。この事業は、町の中央部を南北に広がるよ
うに発展してきました。その後、農業集落排水と
合併処理浄化槽でも水を浄化できるようになり、
二十二年後の今、町内のほとんどの地域で下水道
施設を利用できるようになりました。

しかし、さらなる整備を進めようとした場合、
町が多額の財政負担をすることが難しい状況に
なってきました。このため、公共下水道を利用す
ることになっている一部の地区では、導入までにま
だ時間がかかることになりました。また、浄化方法
について、地区の皆さんと共に見直す必要が出て
きました。

薄名川にサケの稚魚を放流する子どもたち

地域によって整備の手法と時期が異なります

生活も川もきれいにしてくれる浄化槽

吉田 繁作さん（赤沢、農業）

水洗化は、家族で話し合って昨年導入しました。公共下水道や農業集落排水が進む
中、取り残されるような気がしていましたが、町管理型浄化槽を利用することができて
安心です。高校生の孫も、気兼ねなく友達を呼べると喜んでます。今年2月に浄化槽の
利用者講習会があり、娘が出席しました。その中で、微生物が生活排水を分解している
ことを知り、台所の洗剤を少なくしたり入浴剤を使わないようにしたり、また、油を流さな
いようにと、色々気を使っています。この辺は、北上川の伏流水からできた水道水を使っ
ていますので、きれいな水を川に戻すことができうれしく思っています。使う水も大切な
ように、返す水も大切です。自分たちの生活だけではなく、川の水もきれいにしてくれる
浄化槽を、これからも大切に使い続けようと考えています。



下水道を利用できるのは 町全体の8割以上に

生活排水をきれいにする方法は、その地域の特徴によって異なります。市街地などがある町の中心部では公共下水道、比較的密集して農家がある地域では農業集落排水、そうでない農業地域では町管理型浄化槽と、生活環境によって三種類の下水道施設が利用できます。

それでは、どれくらい普及しているのでしょうか。平成十九年度末の状況からみると、下水道施設を利用できるようになった地域は、町全体の82%を超えることが確実にになりました。しかし、その中で実際に利用している人はというと、全体の72%に満たない状況です。これは、導入まで時

間がかかる地域を除いた数値ですが、約10%の人們が利用を見合わせていることになります。

融資などの制度を利用して

水洗化できるのに利用していない。そこにはいろいろな理由があることでしょう。それが資金的な理由であるならば、左に示した低金利融資を利用することもできますので、お気軽にご相談ください。

生活の便利さを追求することも大切ですが、その一方で自然環境を守ることにも必要です。子どもたちに残したい私たちの自然環境、汚して良いわけはありませんよね。

水洗化を低金利の融資で

トイレの水洗化を、低金利の融資で実現できます。「工事を考えているけれど、資金がちょっと」と言う人は、ぜひご相談ください。例えば、60回払いで100万円を借りると、利子の総額72,500円前後のうち、借り主が負担するのは約25,500円になります。

■融資内容

限度額：1件につき100万円以内

償還回数：60回以内

金利：年1%（1%を超える分は町負担）

償還方法：元利均等月賦償還

融資対象：くみ取り式を水洗のトイレに改造する場合。または、し尿浄化槽を止めて公共下水道や農業集落排水、町管理型浄化槽へつなぐ場合。なお、新築家屋は対象にならないなど、一定の条件があります

申込：工事を契約する前に、排水設備工事指定店（105社、町内21社）へ

問合せ：下記の下水道課 業務管理室へ

町管理型浄化槽の申込受付中

町管理型浄化槽を設置したい人は、紫波PFI浄化槽整備（株）までお申し込みください。なお、今年中に利用したい場合は、10月末までをめに申し込む必要があります。また、相談などは随時受け付けています。

■紫波PFI浄化槽整備株式会社 ☎672-2756

※公共下水道や農業集落排水のお申し込みは、最寄りの排水設備工事指定店へ

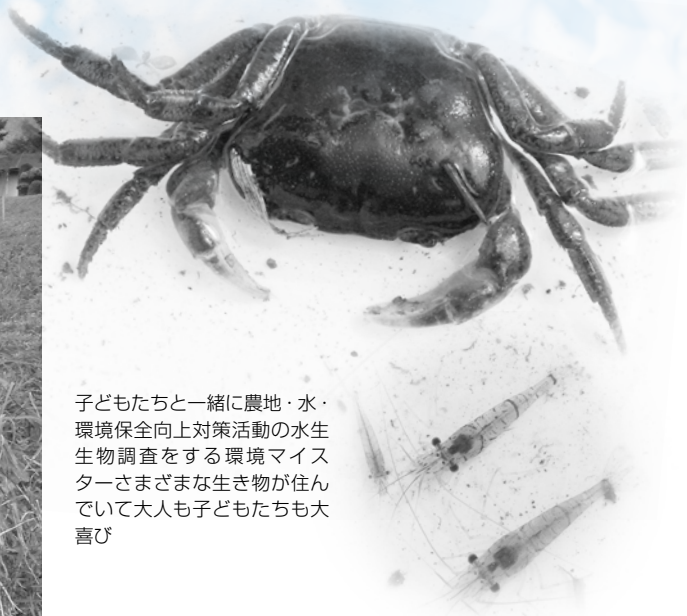
問合せ 下水道課 業務管理室 ☎672-2111 内線5322 有線01-3061 ✉ gesuido@town.shiwa.iwate.jp



生活に欠かすことができません

藤沼 明子さん（日誌、理容店経営）

水洗化したのは、かなり早い時期でしたね。この辺に配管が設置されると同時に利用しました。それまでは、家の周りに排水が出ていたので、側溝でひどい臭いがすることがありました。それに、トイレも、くみ出すときの臭いがねえ。遠くからでも臭いましたから。最初は、水洗化すると水がもったいないと思ったものですが、臭いがなく清潔感に溢れたトイレが、まるで普通の部屋と同じように使えることで帳消しになりました。家族はもちろん、お客様に喜んでもらえたこともうれしかったですね。台所の水はあまり意識することはありませんが、昔に比べて川を汚していないことは確かですから、そのこともうれしく感じています。水洗化のある暮らし、快適ですね。改めて考えると、下水道がない暮らしなんて、考えることもできません。



子どもたちと一緒に農地・水・環境保全向上対策活動の水生物調査をする環境マイスターさまさまざまな生き物が住んでいて大人も子どもたちも大喜び

募集要項

◆目的

環境保全活動の推進、環境保全意識の高揚を図るため、地域の自然環境、生活環境を評価するとともに環境保全活動のリーダーとなる人材を養成するものです。

◆講座日程

- 第1回 7月12日(土) 午前9時30分～午後3時30分
 - 第2回 7月26日(土) 午前10時～午後3時30分
 - 第3回 8月8日(金) 午前10時～午後3時30分
 - 第4回 9月26日(金) 午前10時30分～午後4時15分
 - 第5回 10月24日(金) 午前10時30分～午後3時30分
 - 第6回 11月15日(土) 午前10時～午後3時
 - 第7回 12月20日(土) 午後1時～午後4時
- ※講座日程は、変更になる場合があります。
※講座には、簡易な実習や施設見学もあります。

◆応募要件

次のすべての要件を満たす人。

- (1) 平成20年度内に満16歳以上となる人。
- (2) 町内に在住、在勤、在学しており、地域において環境学習や環境保全のための活動を行なうことができる人、あるいは活動をしてみたいと考えている人。
- (3) 原則として、全7回の講座を受講できる人。

◆募集人員 20人程度

◆受講料 無料

◆申込・問合せ 6月27日(金)までに「住所」「氏名」「年齢」「性別」「連絡先」を、電話またはファクシミリ、電子メールでお申し込みください。

環境課 循環政策室 ☎672-2111

内線3512、3513 ✉ kankyo@town.shiwa.iwate.jp

のくに 環 紫波

町は、良好な環境を百年後の子どもたちに引き継ぐことを目的に「循環型まちづくり」を進めています。町民の皆さんと一緒に、環境を保全・創造する意識を共有し、環境・循環の取り組みを行っていきたいと考えています。

また、この理念に基づいて、身近な環境について考え、地域での環境保全・啓発活動のリーダーとなる「紫波町環境マイスター」を平成十七年度から養成しています。これまでに五十人のマイスターを認定し、地域や学校などで活躍していた

だいています。今年もマイスター養成のために、岩手大学や県立大学の先生による分かりやすく楽しい講座を7回開催する予定です。環境を守る活動に関心のある人のご応募をお待ちしています。

自然や生活環境の保全のために 環境マイスター養成講座 受講者募集

森と水　きれいなまま次世代へ！

環境マイスターから活動内容の紹介

こんにちは。“環境マイスター紫波”って聞いたことありますか？町の環境マイスター養成講座を修了した仲間が平成18年に立ち上げたサークルです。1期生、2期生の会員30人と、新たに3期生も加わり40人で活動しています。

昨年度の私たちの活動について紹介します。紫波100年フォーラム、産業まつり、下水道フォーラムでは、水道水に牛乳やしょうゆを混入し^(注)CODを測る水質検査や、雨水の汚れを来場者に見てもらいました。こども夏エコまつりでは参加した約70人の子どもたちと、紙ヒコーキ作りや星座早見盤作りをしました。一緒になって夢中で紙ヒコーキを飛ばしたりして、会員にとっても楽しい活動でした。

農地・水・環境保全向上対策活動の一環として、志和地区4団体、赤石地区1団体で水生生物調査のお手伝いもさせていただきました。どの地区でも調査後は「昔はこんな虫やあんな魚がいたっけな！」と環境が変化していることを実感した様子でした。

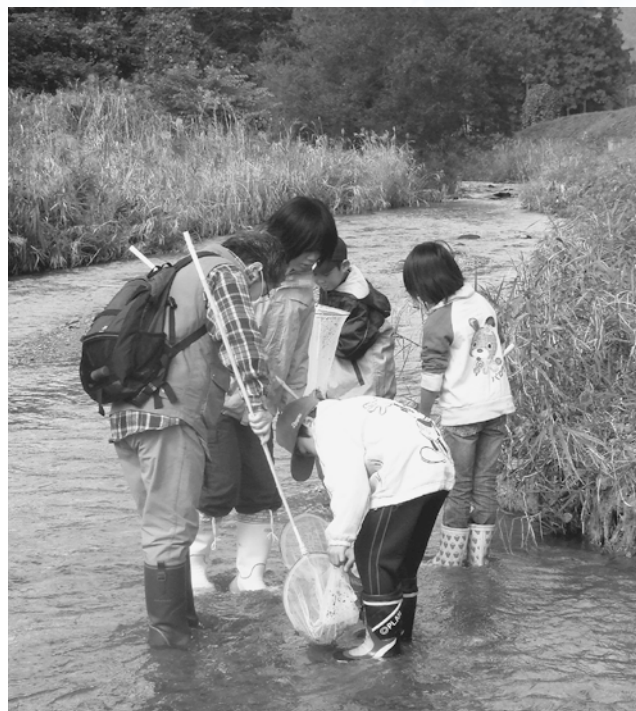
これらの活動の報告会を3月12日に中央公民館で開催したところ、大勢の人たちに参加いただき「環境に関心を寄せる人は結構いるんだ！」と感じました。

“環境マイスター紫波”では自然観察会（4月は小岩井農場へ5万株のミズバショウを見に行きました）など、楽しみながら身近な環境に関心をもち活動しています。

「森と水　きれいなまま次世代へ！」

仲間になってくださる人、大歓迎です。

(注) きれいな水になるために、必要な酸素の量。
水質が悪いほどCODは高くなる。



5万株のミズバショウが咲く小岩井農場での自然観察会

みんなで分ければ効果大

ごみの処理費用は一世帯4万円

町内で発生する家庭ごみは年間七千三百トンもあり、矢巾町にある盛岡・紫波地区環境施設組合で処理されています。それらの処理費用は年間四億円以上にものぼり、すべて町の予算から支払われます。これは一世帯あたり約四万円も負担している計算になります。

燃えるごみの60%が容器や包装！

家庭から出される燃えるごみ袋の中にはどんなものが入っているでしょう。なんと、燃えるごみの約60%が容器や包装に使われた紙やビニールといわれています。

ごみを分別して節約

発泡スチロールでできた食品トレーやティッシュやお菓子の箱、ダイレクトメールなどを分別して資源として生かしませんか？食品トレーはスーパードで回収しています。汚れていない紙類は「雑紙」として資源回収などに出すことができます。家庭から出るごみが減ると町が負担する処理費用が減るだけでなく、家庭用ごみ袋の節約にもなりお財布もニコっとなりますね。

5の付く日は 「弁当持参の日」(ご飯のみ)



5日

15日

25日

学校給食センターは、食材の高騰による厳しい運営を迫られる中、現在の給食費を据え置いて維持できるよう見直した結果、5月から次のように取り組むこととなりました。現状をご理解の上、ご協力をお願いします。

●米飯給食にします

輸入小麦の高騰の影響により、週に一度のパン給食をやめ、「米飯主体」とします。
(100%町内産ひとめぼれを使用)

●ご飯の日を設定

米の消費拡大と家庭での食育を推進する意味も持たせ、毎月「5」の付く日(5日、15日、25日)を「弁当持参の日(ご飯のみ)」とします。(5月15日から実施)※5の付く日が土曜日、日曜日、祝祭日の場合は繰り延べをしません。

◆問合せ 学校給食センター

☎(672) 2196
有線(01) 8638





日詰第二こどもの家を利用する子どもたちと藤原町長



古館第二こどもの家を利用する子どもたちと藤原町長

日詰と古館に 「第二こどもの家」を新設

日詰こどもの家と古館こどもの家は、平成十九年度まで小学校一年生から三年生までの児童を受け入れておりましたが、入所希望者の増加などの理由により、四月一日から日詰こどもの家と古館こどもの家を分割して新たに「日詰第二こどもの家」と「古館第二こどもの家」を新設しました。

農協農業管理センター南側に県住宅供給公社より譲渡された建物を移設設置したもので、古館第二こどもの家は古館小学校の一部を改築して整備したものです。

ふたつの第二こども家を設置したことにより、希望人数によっては四年生以上の受け入れも可能になるなどより多くの入所希望に応えることができるようになりました。

こどもの家入所児童数の変化

	平成19年 12月入所者	平成20年 4月入所者
日詰こどもの家	75人	58人
日詰第二こどもの家	—	28人
古館こどもの家	88人	94人
古館第二こどもの家	—	33人

使用児童の学年内訳 平成20年4月20日現在

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
日詰こどもの家	24人	34人	—	—	58人
日詰第二こどもの家	—	—	16人	12人	28人
古館こどもの家	56人	38人	—	—	94人
古館第二こどもの家	—	—	28人	5人	33人

こどもの家の使用料を7月に改定

こどもの家の運営費用は、約2割が使用料により賄われています。利用者数の増加や開所時間延長などに伴い、指導員の数を増やしていることから、21年ぶりに改定します。

児童1人当たりの月額使用料

6月まで	7月から
2,100円	3,600円（兄弟・姉妹の2人目からは2,600円） ※母子・父子世帯で所得税非課税世帯（同居する別世帯員を含む）の児童は2,100円（使用料減免申請が必要）
延長（朝） 300円	延長（朝） 500円
延長（夕） 300円	延長（夕） 500円

◆問合せ 福祉課 こども室 ☎672-2111 内線1532 有線01-8921

みなさんの声をまちづくりに生かします

4月1日から紫波町市民参加条例が施行されました。この条例に基づいて本年度に実施が予定されている市民参加を紹介します。

区分	項目	検討内容など	実施時期	実施予定方法	担当部署
計画	(仮称) 紫波町PPP基本計画	日詰西地区公共公益用地から日詰商店街周辺までの中心市街地における公共用地を活用した公民連携手法による公共施設整備と民間企業による経済開発の理念と整備方針など	6月～8月 6月～8月 4～5月、6～8月	意見公募 意見交換会 審議会など(委員公募無し)	企画課
計画	紫波町地域水道ビジョン	水道事業を取り巻く環境を分析した上で経営戦略を策定し、それを計画的に実行していくための重点的な政策課題と、具体的な施策や方策	6月～2月 12月	審議会など(委員公募有り) 意見公募	水道事業所
計画	元気はつらつ高齢者計画	高齢者の支援対策 介護保険事業の運営など	9月～3月	審議会(委員公募無し)やアンケート、説明会などを検討	長寿健康課
条例	(仮称) 紫波町小売事業者等によるまちづくり推進条例	町内小売事業者などが自ら積極的にまちづくり活動へ参加・協力することで、町の商工業全体の活性化に役立てるための指針	8月ころ 10月ころ	意見交換会 意見公募	商工観光課
計画	污水处理基本構想	早期に水洗化サービスを利用するための整備手法など	11月	意見公募 意見交換会	下水道課
計画	紫波町地域防災計画	災害発生時に円滑な応急対応などが行えるよう、現実に即した関係機関の役割分担など	1月ころ 3月ころ	意見公募 審議会など(委員公募無し)	総務課
計画	都市計画マスタープラン	町の将来像や土地利用・都市施設の整備などの基本的な方針を、長期的な視点に立って明らかにするまちづくりの指針	未定	意見公募(検討中) 意見交換会(検討中) 審議会など(委員公募無し)	土木課

そのほかにも次のような参加の機会があります。

事業(会議)名	内容(検討内容など)	実施時期 (公募期間)	回数	公募
まちづくり座談会	町の幹部職員が、地区に出向き、テーマに基づき意見交換する	6～7月	各地区 (9回)	
紫波町食育推進協議会	紫波町食育推進計画の推進と検証	6月、2月	2回	有
紫波町食育パートナー制度	地域での食育を推進するため、食や食材について周知活動を行う	通年		有
紫波町元気はつらつ委員会	元気はつらつ紫波計画事業の評価に関すること	10～3月	年2回	無
栄養教室	食生活改善推進員の養成 地域において食生活改善普及活動を行う	6～12月 (5月)	年7回	有
紫波まちピカ応援プログラム (アダプト・プログラム)	快適なまちづくりを進めるための地域美化活動。地域での美化活動を行うボランティア団体を募集	4～3月 (随時)	年3回 以上	有
環境マイスター養成講座	身近な環境を評価し、地域での環境保全活動のリーダーを養成する講座	7～12月 (5～6月)	7回	有
紫波町ごみ減量女性会議	ごみ減量に関する意識高揚、地域における自主的なごみ減量推進	4～3月 (6月)	3回程度	有
レジ袋減らそう!!町民の集い	CO ₂ と家庭ごみの排出量削減のためレジ袋の使用抑制を広く呼びかける	7月25日	1回	
(仮称) 紫波町レジ袋減らし隊	CO ₂ と家庭ごみの排出量削減のための全町民を対象としたレジ袋削減運動	7～3月		
ふれあいフェスタ	障害者団体のステージ、福祉施設によるバザー、コンサートなどを行う	9月28日	1回	
紫波コミュニティFM	・コミュニティFMの必要性和目的 ・情報提供内容の研究検討(放送内容) ・実現可能な経営計画案 ・資格者など、人材の確保および育成案	6月～	年5回	有

●問合せ 総務課 協働支援室 ☎672-2111 内線3142 有線01-8901

受彰者紹介

Congratulations!

青少年健全育成活動に栄誉

岩手県青少年育成県民会議による19年度会長表彰の対象に、町から1団体と1人が選ばれ受彰しました。

紫波地区少年補導員協会（細川昭一郎会長）は、中学校前でのあいさつ活動や、夏・冬・春休み中の合同パトロール、非行防止サミット開催など地域との連帯を深めた活動が評価され受彰。全日本空手道連盟和道会紫波教場支部の支部長高橋吉見さんは、空手道を通じた青少年の健全育成に尽力した功績と、少年補導センターや防犯隊に所属し、非行防止に貢献したことが認められ受彰しました。おめでとうございます。



紫波地区少年補導員協会の
細川昭一郎会長



空手を通じ健全な心を育て続ける
高橋吉見さん

迅速で適正な選挙事務に県表彰

紫波町選挙管理委員会（玉山貞夫委員長）は、適正で効率的な事務を執行したとして、県選挙管理委員会から表彰されました。

この表彰は、4月8日に行われた県知事・県議会議員選挙において、全国でも上位の短い時間で終了した開票事務をはじめ、選挙事務全般の適正で迅速な執行が評価されたものです。



紫波町選挙管理委員会の
玉山貞夫委員長

町長からの
メッセージ

百年先まで 残したい風景

長い冬の寒さに耐え、身を縮めて暮らして来ましたが、一步一步春に向かって近づいていることを感じま

した。木々は次第に赤みを帯び、しばらくすると目にも鮮やかな芽が吹き出します。この地は梅と桜が同時に咲き始めるから心が浮き浮きしてきます。北国に住む者にとって好きな季節は春と答える人も多いと思いますが、私も同感であります。

町には、今の季節にほかでは見ることのできない絶景が三つあります。

一点目は、桜の季節に城山公園から見る町の眺めです。四方どちらを見てもすばらしいですが、特にも岩手山が二千本の桜に包まれ一段と美

しさを増している景色はほかでは見ることができないでしょう。

二点目は新山ゴルフ場からの帰りに中腹当たりから見える町の田園風景です。今の季節は水田に水が張られ、農家の広い屋敷と「えぐね」が湖の島々の様相を呈しています。特に朝日に反射する光景は「すばらしい」の一言に尽きます。

三点目は、ラ・フランス温泉館から見る町と北上山系早池峰山です。特に洋ナシの花の咲く季節は、湯楽々の二階客室からの眺めが遠来のお客様

様から大好評を博しており、この季節を狙い訪れるリピーターもいるほどです。これら三つのポイントは、ほかの地域で見られない町の財産であります。

平成十二年の環境新世紀イベントで発表した未来宣言の中でも「原風景を百年後の子どもたちに残し伝える」と発信しましたが、紫波の環境を壊すことなく子どもたちに引き継いで、我が町の美しさを百年後にも見られるようにしようではありませんか。

藤原 孝



まちの話題



母親に手を取られて元気に入場する新入園児たち

4/9

県内3番目に古い日詰幼稚園 90回目の入園式

日詰幼稚園は、ちょうど九十回目となる入園式を行いました。
同園は、大正八年に佐羽内哲三牧師が日詰伝道所附属幼稚園として創立。現存する幼稚園では県内で三番目に古く、これまでに三千五百七十四人の卒園生を送り出し、この日新たに五十一人を迎え入れました。十代目牧師の井上智園長は「地域に支えられ今がある。幼児期を育てる喜びを感じ一年一年積み重ねたい」と語っていました。



小学一年生の時からほとんどの休日を練習にあてている藤原さん

3/30

長岡の藤原さんが大健闘 競技バトンで全国4位

長岡小学校六年生（現在は紫波第二中学校一年生）の藤原佳穂さんは、千葉県で開催された第三十三回全日本バトントワリング選手権大会小学校高等学校ベアの部に出場し、四位の成績を収めました。
藤原さんは小学一年生の時から矢巾町の教室に通い実力を付け、全国大会出場は昨年に続いて二度目。「緊張せずに演技できました」と本人が言うように、精神力の強さもうかがえ今後の活躍が楽しみです。



五郎沼に浮かべられたごんべえ丸

4/20

五郎沼にごんべえ丸を浮かべ 川を知る会がお花見会

川を知る会（中野英明会長）は、小繰舟「ごんべえ丸」を満開の桜が美しい五郎沼に浮かべ、花見会を行いました。
この舟は、江戸時代に志和の造り酒屋村井権兵衛が舟運で酒を出荷したという史実をもとに、同会が三年前に復元したもの。当日は強風のため、ごんべえ丸への乗船は中止し、ゴムボート二艘に親子連れなどを乗せ、普段とは違う眺めを楽しませていました。



今年の仕上がり具合を説明する町内酒蔵4社の代表

4/19

同じ米と麹からできた夢紫舞 4社の特徴味わうお披露目会

紫波酒開発委員会（佐藤元委員長）は、日本酒の良さを知ってもらうと、三年目となる「しあわせ夢紫舞を味わう会」をナックスホールで開催しました。
七十五人の参加者は、町の酒蔵四社が同じ原料の酒米「吟ぎんが」とオリジナル酵母を使って醸造した日本酒「しあわせ夢紫舞」を、それぞれの蔵の特徴を確かめるように味わい、香りや風味、のどごしなどの違いを楽しみました。



花束を受け取り、笑顔を見せる100歳の福田さん

4/25

百寿の郷で百歳を祝う会 長岡の福田さんが六人目

特養老人ホーム百寿^{もず}の郷^{さと}に入居する明治四十一年生まれの福田フミさんは、四月に百歳の誕生日を迎え、施設を訪問した藤原町長からお祝いが手渡されました。

福田さんは、矢巾町生まれ、長岡地区に嫁ぎ農業一筋の生活でした。三人の子どもを授かり、三十六歳の時に夫は戦死。好き嫌いがなく何でも食べることが長生きの秘けつとのこと。町で百歳以上の人は、福田さんが六人目です。



歩道のガムをはがす二中の生徒

4/22

紫波二中が中央駅を清掃 共同作業で友情はぐくむ

紫波第二中学校（岩泉康喜校長）の生徒五十人は、ふれあい活動の一環として、紫波中央駅駐輪場の清掃作業を行いました。この活動は、入学間もない一年生に、共同作業などを通して友情をはぐくんでもらうことを目的に行われたもので、初日は清掃奉仕と、ドッジボールなどのレクリエーションを楽しみ、二日目は、つどいの森でカレー作りや班ごとにパフォーマンスを披露するなど交流を深めました。



満開のミズバショウを観賞する来場者

5/3

田植踊のおはやし響かせ 山屋峠のミズバショウまつり

山屋^{むら}夢^{むら}楽^らづくり実行委員会は、第五回山屋・峠ミズバショウまつりを開催しました。

このまつりは、ミズバショウが自生する山屋峠の湿原に、観賞用の渡り板を設置した平成十六年から、同地区の活性化のために毎年行われています。会場の峠の広場には、産直などの売店が設けられ、国指定重要無形文化財の山屋田植踊が披露されるなど、訪れた人たちを楽しませていました。



高橋喜和醸造主任(右)からワインを注いでもらう来場者

4/26

2007年産8種を味わう 紫波自醸ワインのつどい

紫波まちづくり企画は、同日発売の二〇〇七年産ワインを味わう「紫波自醸ワインのつどい」を開催しました。

会場のラ・フランス温泉館ホテル湯楽々交流プラザ紫波には、愛好者約九十人が集まり、ワインコーディネーター福井富士子氏によるテイステイングの方法などの講話のあと、思い思いの感想を口にしながら特製の料理と一緒に、八種類のワインを味わっていました。

平成20・21年度 保健推進員

4月1日付で委嘱された保健推進員を紹介します。
保健推進員は、健診や健康相談を中心とする町の保健事業への協力を
中心に、行政区内の健康づくりのサポーターとして活躍しています。

地 区			氏 名			地 区			氏 名			
日 詰	総 括	瀬 川	古 館	10区	古 澤	志 和	11区	藤 坂	彦 部	1 区	内 村	
	委員長	佐々木			奥 谷			2 区			佐 藤	
	1 区	菅 原		11区	澤 口		13区	佐 藤		3 区	川 村	
	2 区	佐 藤			武 田		14区	漆 沢		4 区	佐 藤	
	3 区	稲 田		12区	高 橋		15区	川 村		5 区	吉 田	
	4 区	中 川			佐 藤		16区	阿 部		6 区	阿 部	
	5 区	藤 田		13区	菊 池		17区	吉 田		7 区	加 藤	
	6 区	阿 部			吉 水		18区	畠 山		8 区	作 山	
	7 区	熊 谷		14区	久保田		19区	佐 藤		9 区	浅 沼	
	8 区	長谷川			吉 田		20区	富 岡			菊 池	
		佐々木		15区	佐 藤		21区	小田中		10区	高 橋	
	9 区	橋	鈴 木		委員長	箱 崎	委員長	佐々木				
	鷹 背	高 橋	16区	池 田	1 区	玉 山	1 区	堀 切				
				細 金		藤 原		2 区	藤 井			
	10区	金田一	17区	大 澤	2 区	藤 本	3 区	藤 原				
				斉 藤		高 野		4 区	館 藤			
	11区	佐 藤	18区	宮	4 区	梅 澤	5 区	昆				
	12区	谷 藤		阿 部		泉 山		6 区	山 影			
	13区	作 山	19区	堀 合	5 区	菊 池	7 区	佐 藤				
	14区	小田島		菅 川		中 野		8 区	佐々木			
		佐々木	1 区	生 内	6 区	小 川	9 区	佐々木				
15区	高 橋	2 区	鷹 木	7 区		藤 沼		委員長	梅 沢			
		3 区	中 里		藤 沼	1 区	大 弓					
16区	川 原	4 区	立 花	8 区	野 崎	2 区	藤 田					
17区	町 屋	5 区	野 村		滝 村		3 区	阿 部				
18区	野 崎	6 区	藤 原	9 区	高 橋	4 区	伊 藤					
19区	西 田	7 区	坂 本		菅 原		5 区	遠 山				
20区	岡 田	8 区	藤 原	10区	阿 部	6 区	古 澤					
古 館	委員長	田 森	9 区		藤 原		11区	長谷川	7 区	山 田		
	1 区	藤 本	畑 山	中 島	8 区	籠 沢						
	2 区	北 田	10区	鎌 田	12区	赤 井	委員長	横 沢				
	3 区	戸 塚	11区	鷹 木		宮 野		1 区	藤 原			
	4 区	太 田	12区	菊 池	13区	大 沼	2 区	北 田				
		似 内	13区	菅		滝 浦		3 区	藤 原			
	5 区	加 藤	志 和	委員長	吉 田	赤 石	14区	高 橋	長 岡	4 区	福 士	
	6 区	阿 部		2 区	生 内			15区		松 田	5 区	藤 沼
				3 区	佐 藤					16区	三 浦	6 区
	7 区	谷 村		4 区	戸 川			17区		豊 島	7 区	羽 生
5 区				照 井	18区					秋 山	8 区	中屋敷
8 区	吉 田	6 区		須 藤				19区		高 橋	9 区	細 川
		7 区		成 海	20区					吉 田	10区	高 浪
9 区	水 本	8 区		高 橋				彦 部		委員長	阿 部	11区
		9 区		新 里								
	熊 谷	10区		斉 藤								
	高 杉											

172人

メタボリックシンドローム予防・解消の合言葉 「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ」

生活習慣病の予防のためには、運動習慣の徹底と食生活の改善で消費エネルギーと摂取エネルギーのバランスをとり、内臓脂肪を減少させることが大切です。そしてたばこは動脈硬化を促進させるため、禁煙をお勧めします。

メタボ予防のために生活習慣を見直そう《運動編》

週23エクササイズの活発な身体活動を！そのうち4エクササイズは活発な運動を！

(厚生労働省が策定した「健康づくりのための運動指針」)

Q ところでエクササイズって何？

A エクササイズは、運動量を量る単位として活動強度(メッツ)×実施時間で計算されます。1エクササイズは、活動強度3メッツの普通歩行なら20分、7メッツのサッカーなら9分に相当します。

Q すると1週間に23エクササイズ、そのうち4エクササイズの運動ってどのくらいの身体活動になるの？

A 右に例としてまとめてみました。

「なるほど、日常の生活活動のほかに積極的に運動を楽しめばいいんだね！」

曜日	活動内容	エクササイズ(Ex)	
		生活活動	運動
月	通勤徒歩往復40分	2	
火	自転車15分、水中運動30分	1	2
水	部屋の掃除20分と風呂掃除16分	2	
木	自転車15分	1	
金	通勤徒歩往復40分	2	
土	農作業60分、バレーボール20分	7	1
日	子どもと遊ぶ60分、速歩15分	4	1
合 計		19	4
身体活動合計		23	

問合せ 長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522 有線01-8991

元気はつらつ健康メモ 保健センター ☎ 672-4522

町の栄養士がお伝えします 健康レシピ ～赤、黄、緑、さらに白、黒の食材をそろえましょう～



【材料 (4人分)】

卵…2個、木綿豆腐…1/3丁、ニンジン…3cm
 干し椎茸…2枚、グリーンピース…20g
 A (だし汁又は水…大さじ5杯、しょう油…小さじ2杯
 みりん…小さじ1杯)、塩…小さじ1/3杯、油…少々

「ふくさ焼き」行楽弁当に最適！

冷めてもおいしく、お弁当のおかずにも合う1品です。野菜などの具をたくさん入れて、厚焼き卵のように焼き上げます。豆腐も使うので、ボリュームが出てふんわり仕上がります。

【作り方】

- ①豆腐を水切りしてすりつぶす。干し椎茸は戻してから薄切り。ニンジンは3cm長さの千切り。グリーンピースは熱湯でゆでる。
- ②鍋に干し椎茸とニンジンを入れ、材料Aを煮て冷ましておく。
- ③卵をときほぐし、豆腐、②、塩を加えよく混ぜる。
- ④フライパンに油を熱し、生地を入れたらひとまぜして、ふたをする。中火から弱火で両面焼く。
- ⑤あら熱がとれたら、食べやすい大きさに切る。

一口メモ

フライパンは卵焼き用の大きさがちょうど良く、丸型の場合は、直径20cm以下のものが作りやすいです。多く作る場合は、オーブンで一度に焼くことができます。

一緒に考えませんか「コミュニティFM」

紫波コミュニティFM研究会のメンバーを新たに募集します。同研究会は、町民有志により町独自のコミュニティFM放送局をつくる目的で、平成18年5月に組織し、これまで3回の会議を開き、必要性や先進事例の調査などを進めてきました。第1回研究会は6月中に開催する予定です。

◆対象

- 年齢性別不問
- 概ね月1回の研究会に出席できる人
- 紫波独自のコミュニティFM実現に興味のある人

◆定員 若干名 応募多数は選考により決定

◆申込 住所、氏名、年齢、電子メールなどの連絡先、研究会に対する意気込みなどを記入の上、5月30日(金)までにお申し込みください

◆問合せ 企画課 情報政策室 ☎672-2111 内線3232 有線01-8891 ✉joho@town.shiwa.iwate.jp

平太くん教育助成制度のお知らせ

町内加盟店で買い物をするとポイントがたまる平太くんカードは、満点になると500円分の買い物や納税に利用できますが、今度は教育関連の助成にも利用できるようになります。

◆内容 使用済みカードの半券1枚で30円を助成

◆対象 事前に申請し承認を受けた町内幼稚園・保育所の父母会、小中学校のPTA・スポーツ団体

◆実施日 6月1日から

◆問合せ ポイントカード会 ☎672-5599

今すぐ役立つ！ コーディネーターとしてのノウハウ

話し合いの場で意見を引き出したり、まちづくりの進め方を企画する技術を学ぶ「まちづくりコーディネーター養成講座」を開催します。

◆日時 6月14～15日、7月5～6日、26～27日 午前9時30分～午後4時30分

◆会場 JAいわて中央パーフルパレス

◆参加費 テキスト代 2,000円

◆申込・問合せ 6月10日(火)まで 協働支援室 ☎672-2111 内線3141

多重債務の無料相談会(町主催)

サラ金・クレジット・契約問題などの悩みや相談ごとを、専門の相談員が受け付けます。

前日までに予約をしてからお出かけください。

◆日時 6月3日(火) (受付時間 午後3～6時)

◆会場 総合福祉センター 1階

◆相談員 県消費者信用生活協同組合の相談員

◆持参するもの ・支払いがわかるもの(領収書、振込みの控えなど)・契約内容がわかるもの(契約書、申込書、支払明細書など)・借入先の残高一覧表(現在残高を調べて、一覧表にする)

◆問合せ 商工観光課 ☎672-2111 有線01-8893

栄養教室受講者募集！

食生活改善推進員を養成するための栄養教室を開催します。修了者は地域の食生活改善に関するボランティア活動を実践していただきます。

◆日時 6月～12月の全7回コース

6月20日(金)、7月17日(木)、8月21日(木)
9月18日(木)、10月16日(木)、11月20日(木)
12月18日(木) 午前9時30分～午後2時

◆会場 保健センター ◆定員 20人

◆内容 生活習慣病、年代別の食育など、健康づくりに関する講義、健康食調理実習、メタボ予防運動

◆対象 食に関心があり、地域で食生活改善活動を実践できる人(全7回に参加できる人)

◆受講料 2,000円(テキスト・調理材料代)

◆申込・問合せ 6月6日(金)まで 長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522 有線01-8991

いわて就職面接会Ⅱ

◆日時 6月5日(木) 午後1～5時

◆会場 岩手産業文化センターアピオ

◆対象 平成21年3月卒業予定の大学院、大学、短大、高専、専門・専修学校の学生、既卒者、一般求職者

◆内容 参加企業との個別面談、ハローワークによる職業相談、コンピューターでの適職診断など

◆問合せ (財)ふるさといわて定住財団 ☎653-8976

Information

元気はつらつメンバーズの募集

楽しく仲間づくりや健康づくり活動を実践するメンバーを募集します。

◆日 程

○水中運動コース

開催日 6月3日～10月28日 火曜日 全17回

時 間 午後1時30分～3時

会 場 ラ・フランス温泉館プール

※水着と水泳帽をご用意ください

○ウォーキングコース

開催日 6月19日、7月10日、9月4日

9月18日、10月2日 全5回

集 合 午後1時までに保健センター

※小雨決行、雨具をご用意ください

◆参加費 1コース 1,000円

(水中運動はプール代が必要)

◆募集人員 各コースとも25人程度。町民対象で重複は可能。初めての人の参加を優先

◆申込・問合せ 長寿健康課 健康推進室
☎672-4522 有線01-8991

第25回東根山登山

町のシンボル東根山に登り、頂上からの眺めを楽しんでみませんか。参加者には25回の記念登山として、特製手ぬぐいを差し上げます。

◆期 日 6月7日(土)

◆日 程

午前8時30分～ 受 付

(ラ・フランス温泉館交流プラザ前駐車場)

午前8時50分～ 安全祈願

午前9時～ 登山開始

午前11時30分～ 昼 食

午後3時 解 散

◆持 ち 物 昼食、雨具、帽子、軍手、着替え、水筒

◆参加資格 小学生以上(小学生以下は保護者同伴のこと)

◆参 加 料 大 人(中学生以上) 500円
子ども(小学生) 300円(保険料、入浴料込み)

◆申 込 5月30日(金) まで

水分公民館 ☎673-8222 有線02-3524

中央公民館 ☎672-3372 有線01-2922

ラ・フランス温泉館 ☎673-8555 有線02-3908



特設人権相談会のお知らせ

6月2日は全国一斉の「人権擁護委員の日」です。町では当日の行事として、「人権に関する相談会」を開催します。相談会には紫波町人権擁護委員の5人全員が相談にあたります。相談内容がほかの相談者に聞こえないように、相談室を別々にしてしますのでお気軽にお出かけください。

◆日 時 6月2日(月) 午前10時～午後3時

◆会 場 総合福祉センター・特設相談室

◆相談員 細川博明委員、加藤悦子委員
箱崎正子委員、藤井圭一委員
福田惇委員

◆問合せ 社会福祉協議会 ☎672-3258
有線01-2105

しわネット

2008年5月
No.743

も く じ

特集 地域再発見 シリーズ①	02
よりよい環境を子どもたちのために	06
環のくに「環境マイスター養成講座 受講者募集」	08
5の付く日は「弁当持参の日」(ご飯のみ)	10
日詰と古館に「第二こどもの家」を新設	11
みなさんの声をまちづくりに生かします	12
受賞者紹介	13
平成20・21年度 保健推進員	16
元気はつらつ健康メモ「メタボリックシンドローム予防・解消」	17
行ってみよう「すこやか号 水分線」	20

紫波町コミュニティバス「すこやか号」に乗って 身近な地域を訪ねてみませんか

～晴れた日のひととき、
町を巡るバス散歩がオススメです～



「すこやか号」水分線
水曜日(右回りコース)
金曜日(左回りコース)運行



茜焼と陶芸家・藤尾良一さん



車内ではみんななごやか



車窓から望む東根山



田園風景に映える停留所

陽光豊かな日を選んで、最寄りの停留所から紫波町コミュニティバス「すこやか号」に乗ってみませんか。町の要所を巡る四つの路線では、大人百円、小学生五十円で乗車でき、路線の乗り継ぎは一回まで無料です。車社会となった今日ですが、ワンマンバスではなく添乗員も同乗する「すこやか号」

は、和やかな触れ合いのあるバスとして高齢者を中心に親しまれています。
身近な地域を訪ねる「すこやか号」のバス散歩という事で、今回は水分線をご紹介します。新緑の田園風景が美しい水分線の車窓を眺めると、東根山の特長ある稜線が見えてきます。バスはその山すそに吸い込まれるように快走を続けます。
気ままな途中下車も楽しめるの一つ。須川商店でバスを降りると、路線近くに「茜焼」の工房があります。陶芸家・藤尾良

一さんが主宰する工房では、予約制で陶芸指導を行っています(火・木は午後のみ)。所要時間は約2時間。ご家族で楽しみながら土とふれあうのもいいですね。地域の気軽な散歩の足として「すこやか号」をご利用ください。



ご案内

「すこやか号」の料金

大人(中学生以上)…100円/小学生…50円/小学生未満…無料/障害のある人とその介護者…半額

- 1回の乗車(目的地に至るまで)の料金です。
- 乗り継ぎは1回まで無料です。乗り継ぎがある場合は、「乗り継ぎ券」を発行しますので、乗り継ぎの際に提示ください。
- 身体障害者手帳および療育手帳、精神障害者福祉手帳の交付を受けている町民、ならびに身体障害者1種および療育手帳Aの介護者は、これらの手帳の提示で半額となります。

※コース別の停留所や乗車時刻など詳しくは、すこやか号時刻表およびお問い合わせ先にて確認をお願いします。

問合せ

役場企画課 ☎672-6871 有線01-8891
岩手県交通(株)紫波営業所 ☎672-2120

「茜焼」工房 宮手字中宮28-2

☎・FAX 673-6302

ホームページ <http://www.fbb.ne.jp/~akaneyaki/>